

第1回「まちかどミーティング」概要（ダイジェスト）

団体名	サークル「マイスタイル」・「こぐまの会」
開催日時	平成19年12月25日（火） 午前10時～11時30分
開催場所	子育て支援センター
出席者	<p>「マイスタイル」・「こぐまの会」 9人            （能代市：市長 子育て支援課長 子育て支援センター所長 都市整備課長補佐            子ども館館長 地域情報課長 広報広聴係長）</p>
案件	公園の遊具について 他
<p>会議の概要            （主な発言）</p>	<p>（ …「マイスタイル」・「こぐまの会」の皆さん …市長 …市各職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイスタイル…育児学習サークル。月1度、子育てのテーマを決め子育て支援センターで勉強会。8月から、三種町八竜地区で月1度「カフェ・マイスタイル」主催。（お茶を飲みながら気軽に育児学習しあうサロン形式の集まり）</li> <li>・こぐまの会 …月2回働く婦人の家で談話。また月1度、子育て支援センターで定例会。冬場の子どもの遊び場確保を考え、総合体育館格技場を借りての交流を計画している。</li> </ul> <p><b>1 子育て支援について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>保健センターへの助産師の配置について</b>              健診等で育児相談などをしても的確な答えがなかったり、保健師によって答えが違う。専門的知識を持つ助産師がいればと痛切に思う。最新の知識を共有化し、統一した指導がほしい。              現場の詳細について内部で検証し、皆様の要望に応えられるよう促したい。話を聞く限り、保健師の知識の新古以前に、お母さん方と保健師・行政との人間関係・信頼関係が確立されていないように思う。現場の話も聞いて、少しでもお母さん方の不安・不信を解消できるように調整したい。</li> <li>・<b>子育てサロンの設置協力について</b>              母親たちが主体となり、個々のサークルや地域などの枠を超えて誰でも集まれる場、そんなサロンを開催できる環境を整えてほしい。金銭的援助だけでなく、おもちゃなどの貸し出し、保育士・助産師の派遣指導、場所などの面で協力・援助もお願いしたい。              自主的活動への支援要望と受け取った。              まず場所は、地域の空き家や空き店舗活用が考えられるが、市で主体的に借り上げるのは難しい。費用は空き店舗借り上げの場合、5～7万円/月。安く抑えたい場合は公共施設がある。実践する際は、地域の子育てを終えた先輩達の手伝いを仰ぐなど複合的な成果が得られることを目指したらどうか。その際のおもちゃや絵本などの貸し出し、育児相談などでは協力できると思う。</li> </ul>

「子育てサロン」の皆さんの自主的活動に敬服している。市での主体的な企画は難しいが、会場の問い合わせ・おもちゃや絵本などの貸し出し、育児相談など側面からサポートしていきたい。何でも相談してほしい。

## 2 公園の遊具について

昔と比べると公園の遊具が少ない。遊具の重要性を理解してほしい。各地で遊具事故が増え、管理責任から、危険と思われる遊具は撤去される風潮があるが、子どもは「痛み」を経験せずに大人になってしまう。

公園の遊具については市の悩みでもある。「危険」即撤去という図式が過剰な面もある。子どもは「痛み」を経験して成長するというのも同感だが、保護者が全て同意見というわけではない。管理責任の面からはその兼ね合い、バランスの見極めが難しい。

撤去後の新遊具の設置は、財政事情もありこの数年行っていない。市内の公園は 190 箇所、うち遊具設置は 81 箇所。全ての公園に均等な遊具設置は無理なので、多少不便をかけるが、公園をある程度集約する形でエリア毎の遊具設置を考えていきたい。

公園遊具は、年 1 回専門業者による点検を行い、修繕も行っている（19 年度は 22 基）。職員による日常点検も毎月実施し、各自治会で組織する公園愛護会とも随時連携し安全確保に努めている。修繕を前提とするが、腐食や内部劣化など使用に耐えないものは撤去する。財政を見ながら遊具の更新なども考えていきたい。また、公園愛護会などともさらに連携を密にして安全確保に努めたい。

## 3 就園前の子どもの遊び場について

「つどいの広場」ができたが、なぜゲームセンターが脇にあるジャスコにという疑問を持つ母親もいる。他へ設置する可能性はないのか。例えば地域と連携し、空き家活用など金がかからない形で進めることはできないか。「つどいの広場」のジャスコ設置の理由は、1 つの政策で 2 つ以上の複合的効果を期待するハイブリッド政策を目指した。買い物でたら他事を済ましたり、母親同士で喫茶できるように子どもを預けられないかという発想から始まり、中心市街地の交流人口の増加につなげる。そして子育て支援と 3 つの効果を期待した。環境面での心配はあるが、試行であり、他の候補地(空き店舗・空き家)などあれば検討したいが、利用者数がどれほどいるかが問題。その点も勘案して今後検討したい。

## 4 子ども館の利用拡大について

「子ども館」は小学生以上が対象という印象があり、休祝日のイベントもあるが、冬の平日は幼児は全然遊べない。内部の工夫で、授乳室や乳幼児室なども設け、遊べる場所を作れないか。

「子ども館」については、市でも協議しているところ。スペース確保のためには古い展示物の撤去も協議している。ただ、提案のビデオ室は多目的(団体の休憩・食事等)に使用しており、開放することは難しい。授乳や乳幼児のための空間確保も全体の見直しの中で検討したい。

子ども館は、長期休み以外の平日の利用は少ない状況。ビデオ室は多目的に使用しているが、平日は対応可能と思う。1 階の階段脇には遊技スパー

スがあるが、手狭なので協議していきたい。また 2 階展示室も、古くなった展示物に替え、暗室実験室やボールプールなどを設置する案もあり協議中。本来の設置目的は「科学館」だが、「児童館」的要素も入れていきたい。

今痛感しているのは、行政側のみでよかれと思ってすることが皆さんの望むことではないということ。もっと情報交換して必要なものを見極めて提案するそんなシステムが必要なのかなと思っている。このような対話の機会をもっと増やしていきたい。今すぐ街を変えることはできないが、一つずつ積み上げながら少しずつよくしていきたいと考えているので、気付いた点は遠慮なく声を伝えてほしい。

その他、福祉医療制度の所得制限に関すること、高齢者や子どもにやさしい街づくりについてなど。